

問1 西日本の歴史的地名について、九州北部に位置し弥生時代の代表的な環濠集落である吉野ヶ里遺跡がある県と、本州の西端に位置し幕末に薩長同盟の一翼を担った長州藩（現在の山口県）の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 佐賀県と山口県                      2. 福岡県と広島県                      3. 長崎県と岡山県                      4. 大分県と島根県

問2 幕末の政治において、朝廷から正式な許可（勅許）を得ることなく日米修好通商条約に調印し、その後に幕府を批判する反対勢力を厳しく処罰する「安政の大獄」を断行した江戸幕府の役職と人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. 大老・井伊直弼                      2. 将軍・徳川慶喜                      3. 軍艦奉行・勝海舟                      4. 薩摩藩主・島津斉彬

問3 1842年、アヘン戦争で清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、外国船を武力で追い払う従来の政策を廃止しました。このとき、日本に漂着した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じた法令を何とといいますか。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 薪水給与令                      2. 武家諸法度                      3. 鎖国令                      4. 生類憐みの令

問4 幕末の動乱期における大老・井伊直弼の政治的行動とその経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後に桜田門外の変で殺害された。  
2. 日米和親条約を結んで下田と箱館を開港し、鎖国体制を平和的に終結させたが、攘夷派の反対により失脚した。  
3. 朝廷と幕府の結びつきを強める公武合体を推進したが、薩摩藩と長州藩が結んだ同盟によって江戸幕府を滅亡に導いた。  
4. 政権を朝廷に返す大政奉還を行うことで徳川家を存続させようとしたが、倒幕派の反発により戊辰戦争へと発展した。

問5 1838年に誕生した人物が成長し、1867年に大政奉還の建白が行われるまでの幕末の動乱期において、政治的な出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。（2016年 佐賀公立入試 類似）

1. 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。  
2. 薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた後、日米和親条約による開港が実現し、その後に幕府が反対派を抑え込むための安政の大獄を断行した。  
3. 幕府が安政の大獄によって反対勢力を一掃した後に日米和親条約を締結して開港し、その数年後に薩摩藩と長州藩が協力して薩長同盟を結んだ。  
4. 日米和親条約による開港が決定する前に薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結成し、その軍勢力を背景に安政の大獄と呼ばれる弾圧を幕府に行わせた。

問6 南北戦争において、リンカン大統領が率いる北部の勢力が掲げていた、社会制度および経済政策の方針として適切なものはどれですか。（2020年 三重公立入試 類似）

1. 奴隷制の拡大に反対し、国内の工業を発展させるために保護貿易を主張した。  
2. 奴隷制を維持することで農業生産力を高め、自由貿易によって海外へ輸出することを主張した。  
3. 奴隷制を全面的に容認し、イギリスとの同盟を深めるために自由貿易を推進した。  
4. 奴隷制の廃止を掲げる一方で、経済面では海外製品を広く受け入れる自由貿易を求めた。

問7 1854年に結ばれた日米和親条約と、1858年に結ばれた日米修好通商条約の大きな違いについて、「開国」という視点から正しく説明しているものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 日米和親条約は船の寄港を認める「開国」であり、日米修好通商条約は本格的な商業取引を認める「開国」である。  
2. 日米和親条約は朝廷の許可を得た「開国」であり、日米修好通商条約は幕府が独断で行った「開国」である。  
3. 日米和親条約は長崎の1港のみに限定した「開国」であり、日米修好通商条約は全国の港を対象とした「開国」である。  
4. 日米和親条約はイギリスやロシアに対抗するための「開国」であり、日米修好通商条約はアメリカ1国のみを対象とした「開国」である。

問8 函館にある星形の西洋式城郭である五稜郭は、幕末から明治維新にかけての動乱において、旧幕府軍の拠点となりました。この城郭を舞台に、榎本武揚率いる旧幕府軍が新政府軍に対して最後の抵抗を見せた一連の内戦の名称として正しいものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 戊辰戦争                      2. 西南戦争                      3. 応仁の乱                      4. 下関戦争

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 佐賀県と山口県	吉野ヶ里遺跡は、九州北部の佐賀県神埼市から吉野ヶ里町にまたがって位置する弥生時代の遺跡です。また、江戸時代末期に薩摩藩（鹿児島県）と薩長同盟を結んだ長州藩は、本州の西の端にある現在の山口県にあたります。
問2	<b>答え 1</b> 大老・井伊直弼	幕末の動乱期に幕府の最高職である大老に就任した井伊直弼は、反対意見を押し切り、孝明天皇の許しを得ないままアメリカとの間に日米修好通商条約を締結しました。この独断での条約調印や、将軍の跡継ぎ問題で対立した勢力を抑え込むために行われたのが安政の大獄です。この厳しい弾圧は、のちに彼自身が桜田門外の変で暗殺される大きな要因となりました。
問3	<b>答え 1</b> 薪水給与令	幕府は清の敗北を通じて、西洋の軍事力を背景とした開国の圧力を察知しました。それまでの「異国船打払令」を継続することでイギリスなどの強国を刺激し、日本が戦争に巻き込まれることを防ぐ目的で「薪水給与令」が出されました。これにより、日本の対外政策は一時的に柔軟化することとなりました。
問4	<b>答え 1</b> 日米修好通商条約の調印を強行し、反対派を安政の大獄で弾圧したが、その後桜田門外の変で殺害された。	井伊直弼は、勅許（天皇の許可）がないまま日米修好通商条約に調印し、開国を断行しました。これに反対する勢力を「安政の大獄」で徹底的に排除したことが、幕府の権威を失墜させ、のちの倒幕運動へとつながる大きなきっかけとなりました。
問5	<b>答え 1</b> 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。	1854年の日米和親条約締結によって長年の鎖国体制が終わって開港が実現しましたが、これに反対する尊王攘夷派の動きが激化しました。1858年から1859年にかけて大老の井伊直弼がこれらの反対勢力を厳しく処罰したのが安政の大獄です。この弾圧が幕府への不信感を高めることとなり、1866年に坂本龍馬らの仲介によって、かつて対立していた薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結び、倒幕の流れが決定的となりました。
問6	<b>答え 1</b> 奴隷制の拡大に反対し、国内の工業を発展させるために保護貿易を主張した。	北部は資本主義的な工業化が進んでおり、自国の未熟な産業を保護するために高い関税をかける保護貿易を必要としていました。また、自由な労働力を確保する観点からも奴隷制には反対の立場をとっていました。一方の南部は農業中心で、奴隷制の維持と自由貿易を求めているため、これらの方針の違いが激しい対立を生みました。
問7	<b>答え 1</b> 日米和親条約は船の寄港を認める「開国」であり、日米修好通商条約は本格的な商業取引を認める「開国」である。	日米和親条約と日米修好通商条約の目的の違いを整理する必要があります。ペリーの要求によって結ばれた日米和親条約は、あくまで薪水（燃料）や食料の補給、遭難船の救助を目的としたものであり、貿易を許可するものではありませんでした。これに対し、のちにハリスとの間で結ばれた日米修好通商条約は、貿易を行うためのルール（関税や裁判権）を定めた本格的な通商条約です。どちらも「開国」に関連しますが、その段階的な深化を理解することが重要です。
問8	<b>答え 1</b> 戊辰戦争	五稜郭は、1868年から1869年にかけて行われた戊辰戦争の最終決戦である「箱館戦争」の舞台となりました。鳥羽・伏見の戦いから始まったこの一連の戦いは、五稜郭における旧幕府軍の降伏をもって終結し、明治政府による統一国家の基盤が確立されることとなりました。1877年に西郷隆盛を中心に行われた西南戦争とは、時期や背景が異なります。